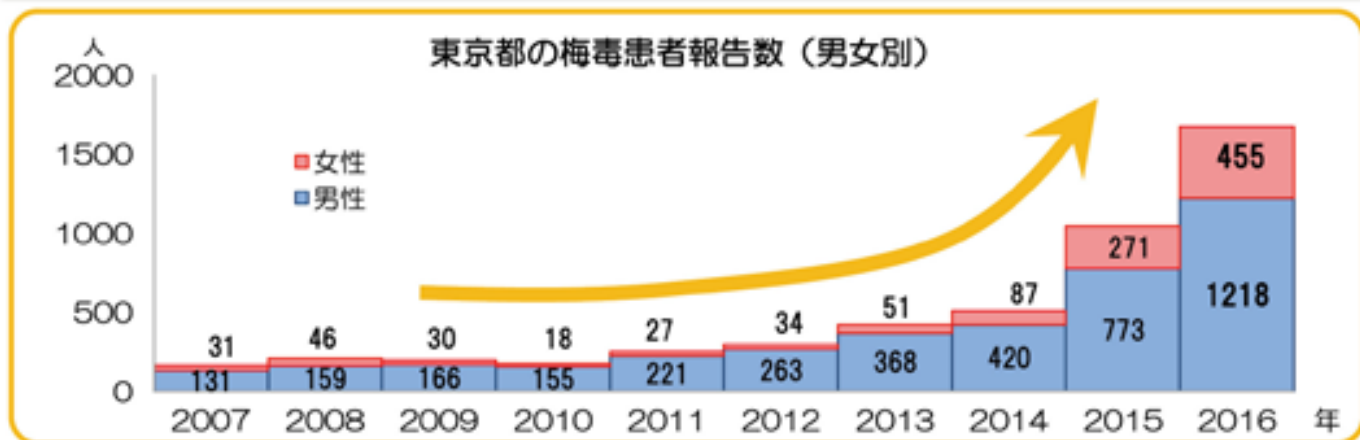


はいとく 梅毒患者が急増しています！

2016年の都内の梅毒患者報告数は、1673人！過去10年間で最多となっています



梅毒ってどんな病気？

性感染症の一つです。感染の初期には、感染した場所にしこりやただれなどができたり、手のひらや足の裏、全身に発疹ができます。これらの症状は、治療をせずとも消失します。しかし、病気は進行し、いずれ脳や心臓などに重大な合併症を起こすことがあります。また、妊娠している人が梅毒に感染すると、胎盤を通して胎児に感染し、死産、早産、新生児死亡、奇形が起こることがあります（先天梅毒）。

早期の治療で完治が可能です

梅毒は、早期の薬物治療で完治が可能です。感染が疑われる場合は、早めに受診しましょう。また、無症状になりながら病気が進行するため、治ったことを確認せず、途中で治療をやめてしまわないようにすることが重要です。また完治をしても、感染を繰り返すことがあるので、パートナーの検査・治療など再感染の予防が必要です。

性感染症について

性行為で感染する病気を総称して、性感染症（STI）といいます。ウイルス、細菌、原虫などが、性器、肛門、口腔などに接触することで感染します。梅毒のほかにも、HIV 感染症/AIDS や性器クラミジア感染症、淋菌感染症等多種あります。しかし、症状がなかったり、軽かったりすることもあり、知らぬ間に進行していることがあります。

性感染症予防には、コンドームの正しい使用が有効です。

気になる症状があるときは、医療機関を受診しましょう。

治療は、医師の指示に従った期間と方法が大切です。

治療するときは、パートナーも検査を受けたり受診をしましょう。



もっと詳しく知りたいときは、東京都ホームページをご覧ください

東京都 梅毒とは



【この記事に関するお問合せ】保健対策課 感染症対策担当